

## 地域

地域素材の掘り起こし・産業の支援

1次産業

**農業への参入**



トマトを生産する太陽光利用型植物工場  
「JRとまとランドいわきファーム」

2次産業

**加工工場の設置**



A-FACORY  
AOMORI  
CIDRE

SWEET  
200ml



規格外りんご等を活用  
青森シードル工場  
「A-FACTORY」

## 首都圏

販路を活用した地域素材の魅力発信、需要拡大

3次産業

**首都圏販路の活用**



地産品セレクトショップ  
「のもの」



地産品の販売と観光PRの場  
「産直市」



あきたこまちを「はこビュン」  
で首都圏へ輸送



「JRE MALL ふるさと納税」  
を通じた地域の魅力発信

# 企業人参加による農繁期支援施策

## ◆目的

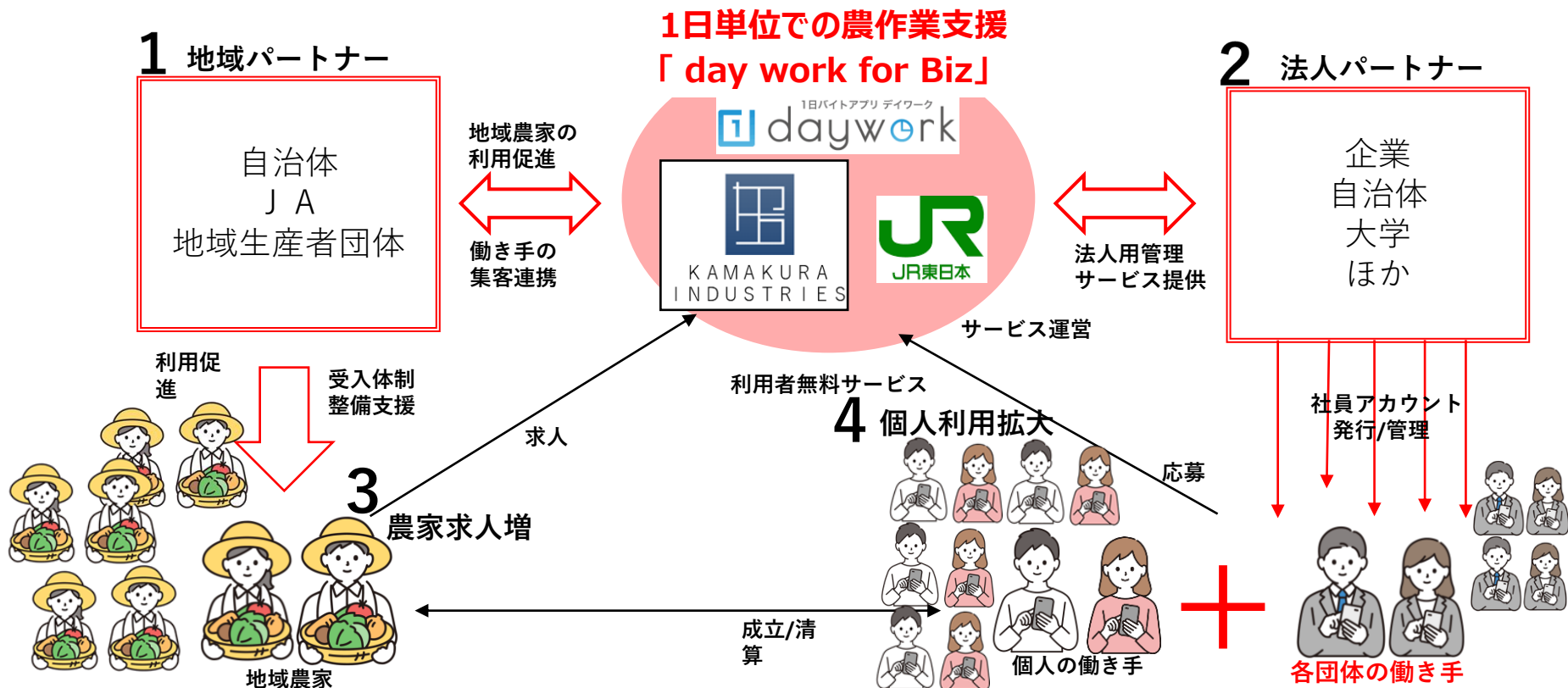
『農繁期の農業労働力確保』のため、1日単位で農作業支援ができる既存サービスを活用。

自治体、外部企業を巻き込んで、農業に関わる人を増やす取り組み。

**「農家側の外部人材受入拡大」・「短期就農による就農関心層の拡大」により地域の観光資源でもある農業の発展につなげていく。**

**農家側：外部人材を受け入れる環境づくり**

**企業側：繁忙期の農作業支援により地域産業維持に貢献**



# 企業人参加による農繁期支援施策

企業人による援農実証実験の一環で、農体験を組み合わせた地域課題ワークショップを開催。

**県外エリアからの企業人の呼び込みと、地域交流による関係人口創出**を目的に実施。

→2025年度は上記に加え、**社員の健康**や**企業の健康経営**に資するような取り組みを実施。

## 【実施プログラム】

(山形県エリア) **25年6月18～20日**

- ・天童市エリアでのさくらんぼ農作業支援
- ・山形統括センターと参加企業との交流

(長野県エリア) **25年6月27日、7月10日～11日**

- ・須高エリアのぶどうの摘粒等の農作業支援
- ・唾液採取によるストレス値の変化を計測

(青森県エリア) **25年6月5日**

- ・りんごの摘果作業実施による農作業支援



## ○健康経営に関係した取り組み事例

✓ 農作業実施前・実施後で唾液採取によるストレスチェックを実施し、農作業を実施することでストレス値がどう変化するかを調査する。

### プログラム実施前



アンケート実施  
作業適性の把握

### プログラム当日



作業前の唾液採取



農作業に従事



作業後の唾液採取

### プログラム実施後



結果の分析  
レポート作成



# 特定技能外国人制度活用について

○農繁期の補助労働力確保に向け、自社エリアにおける**特定技能外国人材**の活用を検討。  
→2025年2月、特定技能人材派遣会社である**YUIME社**に**JRグループ**として出資。

○特定技能外国人を受け入れるトライアルとして、JRグループにて運営する農場にYUIME社より2名外国人材の受け入れを実施した。

